

中尾有紀のバレンシア通信

バレンシア県初!アルプエンテ、 「スペインの最も美しい村」に認定

中尾有紀



プロフィール

東海テレビ社員で報道番組などの制作に関わる。エンタメの最高峰アメリカのLAに渡り、テレビ番組や短編映画の制作に携わる。スペイン人の夫と結婚後、バレンシアの片田舎に移り住み、高齢出産を経て一児の母となる。ビジネス通訳、観光ガイド、テレビ番組取材のコーディネートをしつつ、余暇はワインとパデルやゴルフにはまる。夫のブランドcambrassのネット販売も手伝う。



狭く曲がりくねった石畳の路地が延びるアルプエンテ旧市街



城壁の塔の中で最も保存状態がよく、およそ1000年以上前に建てられた「ラ・トーレ・デ・ラ・アルハマ」



八角形の鐘楼は14世紀に建立、単廊とアーチ型の入口を構えた「ピエタ聖母教会」



旧市街にあるサンタ・バルバラ礼拝堂を改修した建物内に設置された「古生物博物館」



村の北2.5km辺りにあり、2005年にスペイン文化財に指定された「アルプエンテ水道橋」



名物料理は、オリーブオイル漬けの揚げソーセージ(写真)や兎・鶏肉やクラッカーを加えた温かいガスパッチョなど



教会の八角形の鐘楼



展望台からの景色



村が位置する巨大な岩山の頂上には、深い断崖に囲まれたアルプエンテ城跡



ピエタ聖母教会



展望台からの景色

スペインには、目を見張るような美しさや歴史・文化が息づく小さな町や村が数多くあります。そのような村の魅力と地元の遺産や伝統を世界に発信するため、「スペインの最も美しい村」協会が2011年に設立されました。認定条件は、原則として人口1万5000人未満であり、文化遺産的な建築物や豊かな自然に恵まれていることが挙げられます。村おこしにも繋がることから申請は多いものの、認定されるには厳しい審査があり狭き門となっています。

代表的な村には、テラコッタ色を帯びたイスラムと中世の要塞都市の面影を色濃く残すアラゴン州テルエル県のアルバラシンを筆頭に、スペインで最も美しい「白い村」と呼ばれるアンダルシア州マラガ県のフリヒリアナ、「奇跡の黒い聖母マリア像」を祀る修道院を中心に信仰と巡礼の聖地エストレマドゥーラ州カセレス県のグアデルーベなどがあります。

バレンシア州も美しい村の宝庫で、カステリオン県には海の岩山にそびえる古城の村ペニスコラをはじめ、巨大な岩山を背に赤土色の石畳が美しいヴィラファメス、「天空に浮かぶ要塞の村」と呼ばれるモレーリャ、中世の戦略的拠点だった人口約500人のクヤが認定されています。またアリカンテ県には、一枚岩の上に立つ絶景の要塞村グアダレストが認定されており、隠れた名所となっています。

2025年12月時点で122村が加盟しており、今年新たに認定された4村の一つが、バレンシア県北西部(アラゴン州テルエル県との県境近く)にあるアルプエンテ村です。

山々に囲まれたバレンシア内陸部にひっそりと佇むアルプエンテは海拔約1000mに位置し、バレンシア県で最も標高の高い村です。人口は約660人、自然豊かでハイキングやトレッキングにも適した場所となっています。

11世紀にはイスラム系の小王国(タイファ)の首都として栄え、レコンキスタ(キリスト教徒の国土回復運動)の後にはバレンシア王国の王領地かつ国境の戦略的な要衝として役割を果たしました。

見所はイスラム起源の城塞、古い城壁、中世の街路です。「歴史的・芸術的景観地区」には、かつての防護壁の跡(500mの壁と14の塔)や、中世の城壁の一部を成していた旧出入口の「ラ・トーレ・デ・ラ・アルハマ」(La Torre de la Aljama)が残されています。他にも、13~15世紀にかけて建設されたピエタの聖母教会、16~17世紀にかけて建設された13連のアーチから成る水道橋も見応えがあります。古い礼拝堂を改装した古生物学博物館では、当地で発見された1億4千万年以上前の恐竜の足跡や竜脚類の化石などが展示されています。

また、ベレタ展望台からは、街並み、時が刻んだ峡谷、ビャクシンの林など壮大な景色を一望できます。都会の喧騒を離れ、穏やかな時の流れと景観に癒されながら、歴史と文化に浸る村歩きが楽しめるでしょう。